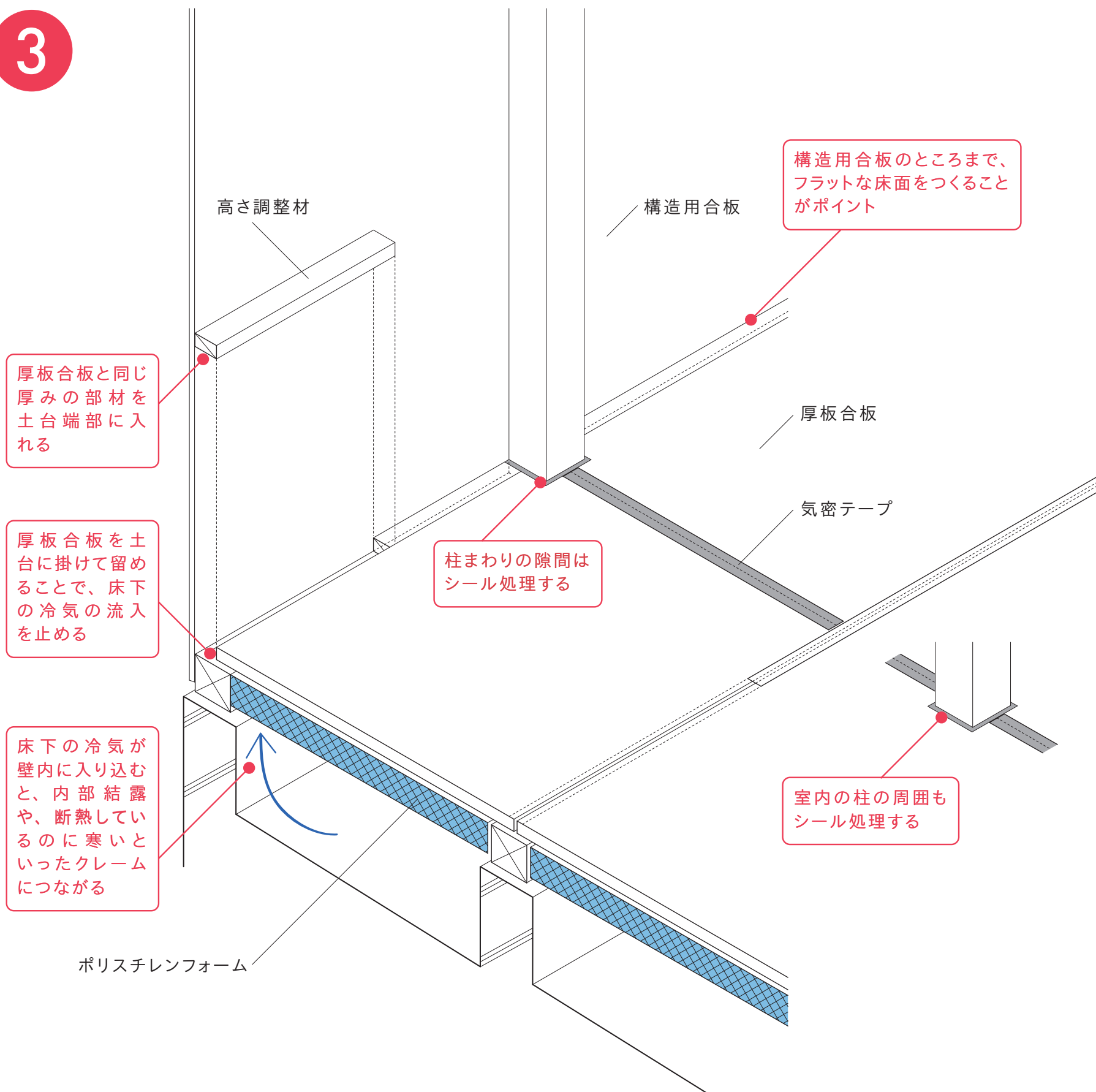


3



厚板合板と同じ厚みの部材を土台端部に入れる

厚板合板を土台に掛けて留めることで、床下の冷気の流入を止める

床下の冷気が壁内に入り込むと、内部結露や、断熱しているのに寒いといったクレームにつながる

構造用合板のところまで、フラットな床面をつくることがポイント

柱まわりの隙間はシール処理する

室内の柱の周囲もシール処理する

- ・厚板合板を土台に掛けて留めることで、床下からの冷気の流入を止め、壁内結露を防ぐ。
- ・床中央部の厚板合板は大引きのある部分で継ぎ、上から気密テープを張り、床下からの冷気の流入を防ぐ。
- ・土台の端部は、柱間に厚板合板と同じ厚みの高さ調整材を入れ、壁の構造用合板面までフラットな床面をつくる。
- ・間仕切りは床合板を張った上から施工する。
- ・柱まわりの合板の隙間は床下の冷気の流入口となるため、コーキング材もしくは発泡ウレタンでシール処理する。室内の柱の周囲も忘れずにシール処理する。